

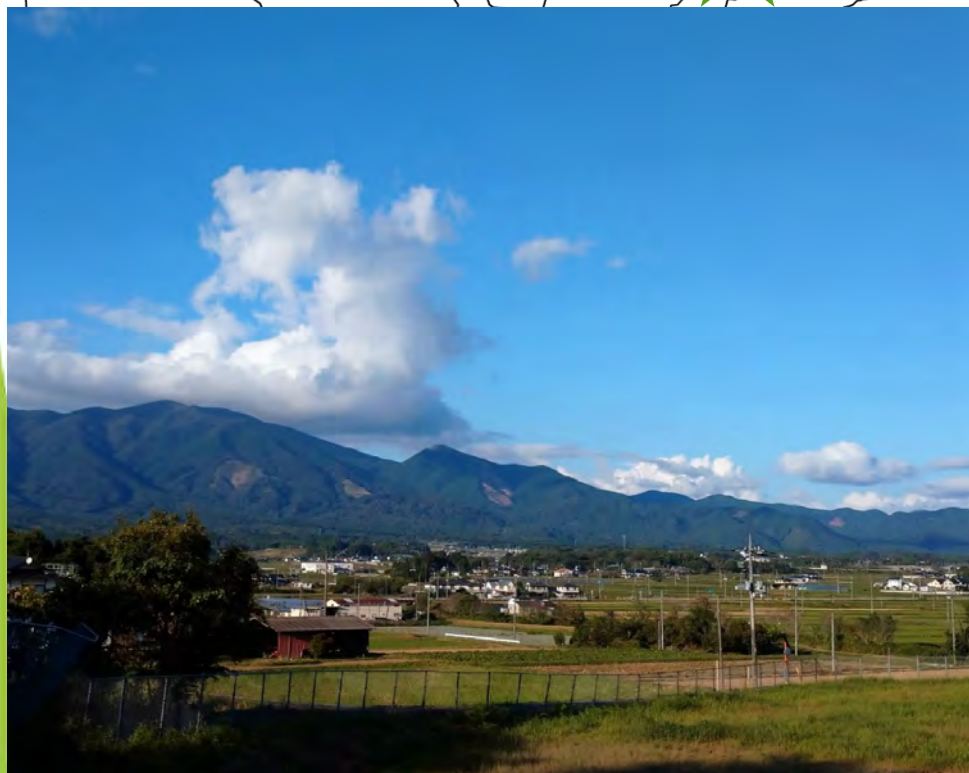
県南・県北を結ぶ 稲わらの広域流通

未利用資源活用講習会

岡山県勝田郡奈義町

農事組合法人 伍協牧場

奈義町の概要



地 理

- ・岡山県の北東部・関西圏まで、車で2時間30分程度
- ・南部は日本原高原があり、平地が多い
自衛隊の演習場も

自然条件

- ・平均気温は14℃で温暖
- ・台風シーズンには局地風(広戸風)が吹くことも
→農作物に被害

農 業

- ・農業が主産業
- ・水稻、黒大豆、白ネギ、サトイモなど

畜 産

- ・局地風（広戸風）の影響を受けにくい
- ・肉用牛と黒豚のブランド化
- ・農業粗生産額の75%

●ふるさと納税



●各種イベントPR



●町内飲食店での販売推進



農事組合法人 伍協牧場 概要

所在地	岡山県勝田郡奈義町
設立年月	昭和48年1月
事業内容	肉用牛繁殖肥育一貫経営 堆肥製造販売
飼養頭数	約1,500頭
年間出荷頭数	約650頭
従業員数等	20名

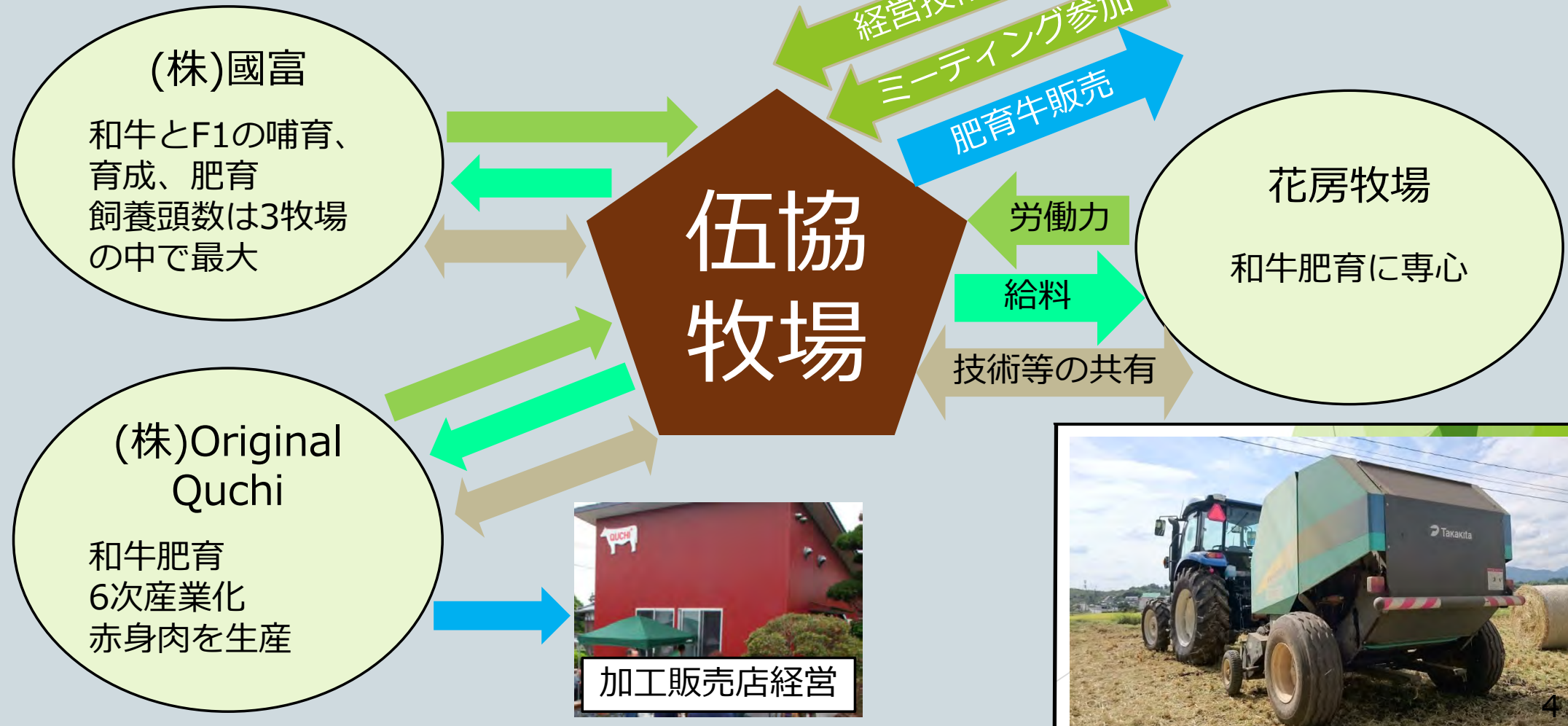


伍協牧場関係図

奈義町

ワクワクする農業と地域の未来を

JA晴れの国岡山



事業内容

部 門	飼養規模	年間生産数	人 員
牝牛の肥育	250頭	220頭	8人
F1肥育	180頭	120頭	
和牛肥育	550頭	330頭	
繁殖牛	300頭	230頭	7人
育成牛	200頭		
堆 肥	10kg(40 ℓ)袋	約400,000袋	3人

飼養品種と販売先

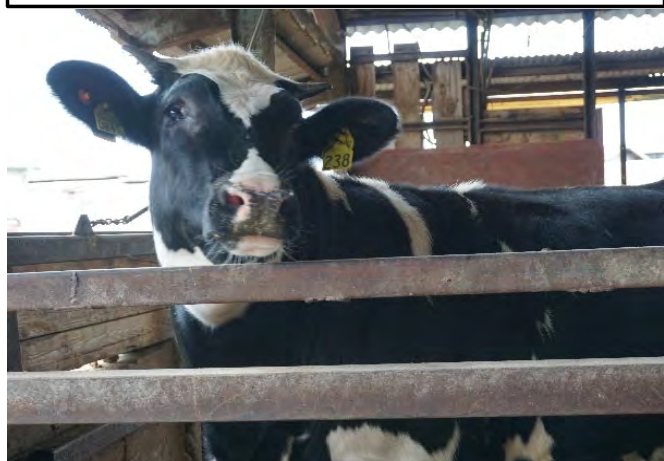


コープ産直牛



なぎビーフ

乳用種



飼養期間	13ヵ月
平均枝重	約460kg
出荷先	おかやまコープ

交雑種



飼養期間	18ヵ月
平均枝重	約530kg
出荷先	市場(岡山・関西)

黒毛和種



飼養期間	18～20ヵ月
平均枝重	約500kg
出荷先	市場(岡山・関西)

堆肥製造と販売

牛床

敷料：おが粉

堆肥化

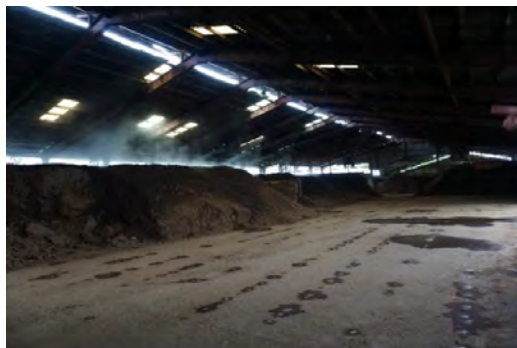
完全発酵

袋詰め

年間約40万袋

販売

ホームセンター
耕種農家



袋詰めまで牧場内で

地域との連携

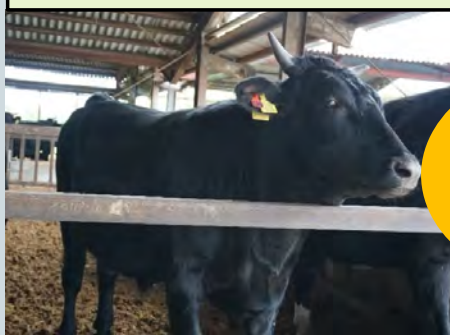
伍協牧場

乳用種



消費者
ニーズ
に対応

交雑種



高付加
価値化

黒毛和種



資源循環



堆肥センター



地元耕種農家

所得の
確保



地元黒大豆生産者

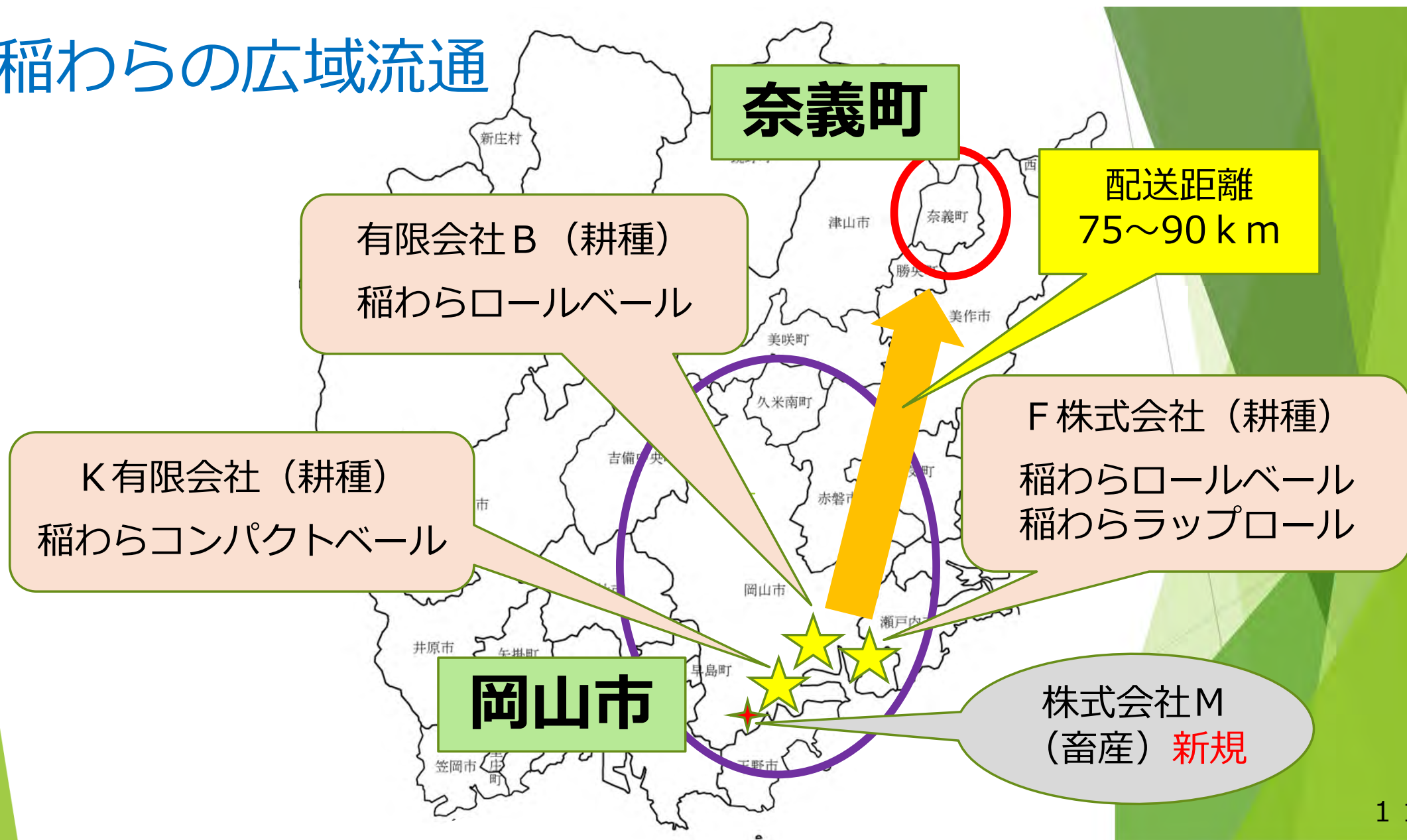
農事組合法人 伍協牧場 沿革①

昭和48年	5戸の農家で農事組合法人伍協牧場を設立
昭和49年	牧場経営を開始（飼養頭数300頭、ホルスタイン肥育等）
昭和60年	岡山市民生協（現おかやまコープ）との取引を開始
平成 5年	なぎビーフ誕生
平成 8年	経営の主体が2世代目に移行
平成 9年	交雑種を増頭、黒毛和種を導入（飼養頭数500頭）
平成11年	おかやまコープと産直協定締結
平成14年	黒毛和種を増頭（飼養頭数560頭）
平成16年	3世代目の就農

農事組合法人 伍協牧場 沿革②

平成18年	第2農場運営開始（飼養頭数680頭）	平成21年～稲WCS 平成24年～飼料用米 利用開始
平成26年	JAから牧場事業を継承 第3農場・繁殖センター運営開始（飼養頭数1,330頭）	
平成28年	経営の主体が3世代目に移行	平成27年～ 県南の稲わら 利用開始 （連携先2社）
平成29年	繁殖母牛の増頭（飼養頭数1,500頭）	
平成29年	なぎビーフ銘柄推進協議会設立	
平成30年	県南連携先1社増＝3社のうち契約量最大	
令和 6年	稲わらラップロールを調達、県南連携先1社増	

稲わらの広域流通



稲わらロールベールが届くまで① 有限会社 B



稲刈り



集草



天日乾燥（岡山市南区）



自社倉庫に
保管



ロール巻き



1~2月頃
伍協牧場へ配送

稲わらコンパクトボールが届くまで②

K 有限会社



1~2月頃
伍協牧場へ配送



K 社の皆さん
(岡山市中区)



稲わらロールベールが届くまで③

F 株式会社



ロール巻き
(岡山市東区)



自社倉庫



秋、3~4月頃
伍協牧場へ配送